

意見書・決議の審議結果

【会派略称】
 公：小金井市議会公明党
 会：こがねい市民会議
 ネ：生活者ネットワーク
 緑：緑・つながる小金井

自：自由民主党・信頼の小金井
 み：みらいのこがねい
 情：情報公開こがねい
 明：小金井の明日をつくる会

共：日本共産党小金井市議団
 お：小金井をおもしろくする会
 改：改革連合
 市：市民といっしょにカエル会

議 決 結 果

○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)

自	共	公	み	お	会	情	改	明	市	緑												
吹	湯	河	五	遠	水	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂
春	沢	野	十	藤	上	倉	戸	辺	林	由	下	山	木	田	井	藤	辺	原	田	浦	山	井
やす	綾	律	風	百	洋	真	真	ふ	正	紀	誠	ひ	成	正	亨	康	大	ひろ	祐	あ	山	え
た	子	子	京	合	志	也	也	ぎ	樹	子	誠	で	夫	夫	夫	三	し	し	つ	つ	つ	つ

※可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

件 名	要 旨 (提案議員が作成)	吹	湯	河	五	遠	水	板	森	渡	小	紀	宮	村	鈴	岸	白	齋	渡	篠	田	沖	片	坂	
「働き方改革」一括法案の強行採決に抗議し、撤回を求める意見書	データのねつ造などで法案提出の根拠が総崩れし、長時間労働を拡大し過労死促進の危険な中身も浮き彫りになり、過労死遺族からの批判や国民の理解を得られていない状況である。よって強行採決に抗議し撤回を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	△	○	×	○	○	○	○	○
大飯原発4号機の再稼働に抗議し、「原発ゼロ」の実現を求める意見書	若狭湾沿岸に隣接する4基が稼働することとなったが、原子力規制委員会の安全審査は、同時事故を想定していない。使用済み核燃料の行き先も未定で、課題は山積み。再稼働に断固抗議し、原発ゼロの実現を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
ヘルプマークの更なる普及推進を求める意見書	心のバリアフリーの普及推進のため、心のバリアフリー推進事業など、自治体が行うヘルプマーク及びヘルプカードの取組への財政的支援の充実や国民への更なる情報提供・普及、理解促進を図ることを強く求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域材の利用拡大推進を求める意見書	森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を実現するためには、地域材の安定供給体制の構築を新たな木材需要の創出が必要である。低コストで安定供給のための条件整備、競争力強化、施設整備等の総合的な推進を求める。	○	○	○	議	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ネオニコチノイド系農薬の使用禁止と、農産物規格規程の着色剤規定の廃止を求める意見書	着色剤規定の廃止と斑点米カメムシ類への指定有害動植物の指定解除が、日本におけるネオニコチノイド系農薬の使用量削減を実現する第一歩になる。農家としても、健康を害しコストアップとなる農薬を使う理由はない。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モニタリングポストの継続配置を求める意見書	福島原発事故は継続中であり、空間線量を可視化するモニタリングポストの配置を継続し、撤去は廃炉作業が全て終了してから行うことと、大気中粉じん濃度測定ダストモニターを広範囲で設置することを求める。	△	△	△	議	△	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本政府に対し、職場におけるセクシュアルハラスメントや暴力を禁止するILO国際条約制定への賛同を求める意見書	ILOは職場におけるセクハラや暴力を無くすため拘束力を持つ条約を制定する方針を決めた。政府は条約制定に賛成し、セクハラを規制する法整備を進め、条約制定の際には速やかに批准することを求める。	△	△	△	議	△	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
表現の自由を脅かす、小金井警察署による市民の不当連行に抗議し、市民の平穏な請願権を行使する活動を保障する決議	「安倍9条改憲NO! 3000万人署名」への協力をお願いしていた3人の市民が、小金井警察署員によって不当連行された事件に抗議し、警察署は市民に謝罪し市民が平穏に請願権を行使する権利を侵すことのないよう強く求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	△	△	△	○	○	△	○	△	○	△	○	○
TPP11関連法案の強行採決に抗議し、撤回と平等・互恵の経済関係を発展させることを求める意見書	日本の農業を衰退させ、食料自給率の向上を放棄し、食糧の安全保障をないがしろにするTPP11関連法案の採決に抗議し、撤回、中止し、食料主権、経済主権を尊重した平等・互恵の経済関係を発展させることを求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	○
一連の疑惑の全容説明と安倍内閣の総辞職を求める意見書	安倍内閣の下で次々に起きる一連の不正や疑惑問題は、国民の政治不信を増大させる最大の要因となっており、統治能力の欠如、政権担当能力の欠如を国民の前に知らしめるものとなっている。よって、総辞職を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	△	○	△	○	△	○	○
カジノ実施法案の撤回を求める意見書	刑法の賭博禁止と整合が取れず、経済効果も疑問で、カジノ資本が国民を搾取し、深刻なギャンブル依存症を増加させるカジノ実施法案は廃案しかない。政府にカジノを含む統合リゾート実施法案の撤回を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	△	○	△	○	△	○	×	○	○
議案第42号障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例に対する付帯決議	平成30年第1回定例会での市長提案の本条例案について、八王子市条例の視察や市民との意見交換会の実施を経て、新たな条文の追加及び5つの条文を修正する等、協議の結果、一致した内容の修正を求める。	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号平成30年度小金井市一般会計補正予算(第1回)に対する付帯決議	新庁舎・福祉会館建設基本設計については、最終局面で大きな方針転換がされた。よって市議会は、市民の理解を得られる事業となるよう、事業を推進する立場から、発注方式の合理的な再検討と説明など7項目を求める。	○	○	○	議	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○
約100億円を支出する新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設関連予算について、西岡市長の提案姿勢とその責任を厳しく問う決議	西岡市長は新庁舎等の建設関連予算約3億円を提案した。多くの議員から発注方式など指摘され、方針案を検討し直すことと答弁した。根拠がない予算を市議会に押し付けることは許されない。責任を問い、予算撤回を求める。	×	×	×	議	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

会派の解散・結成がありました

6月1日付けで、片山薫議員及び坂井えつ子議員の所属する会派より会派解散届が提出され、併せて、両議員より会派結成届が提出されたため、次のとおり変更となりました。

(旧) ● 緑・市民自治こがねい
 片山 薫 坂井 えつ子

(新) ● 市民といっしょにカエル会
 片山 薫
 ● 緑・つながる小金井
 坂井 えつ子

反対討論 (要旨)

遠藤百合子(自民党・信頼)

安倍内閣の発足後、有効求人倍率は高い水準で推移し、雇用の増加等アベノミクスにより、所得環境は順調な改善をみている。G7サミット等の外交において安倍総理は積極的な平和外交、経済外交を精力的に展開しており、各国首脳に評価されている。内外共に高評価の安倍総理の継続を期待し、反対する。

賛成討論 (要旨)

渡辺大三(情報公開)

①他市と比べ異常に借金依存率が高い建設計画である。②建設コスト大幅削減に向けた床面積削減、工法の工夫がほとんど検討されていない。③庁舎と福祉会館を複合化させる基本計画、基本方針が策定されていない。④「Cre・2案」に結論を導くための「操作」が行われている。よって決議案に賛成する。

反対討論 (要旨)

宮下 誠(公明党)

公明党は世界最高水準にふさわしい法案内容にすべく、議論をリードしてきた。IR施設建設を全国で3か所までに限定、入場回数制限については7日間で3回、28日間で10回という世界に類のない制限を設けたほか、一人当たり1回6千円の入場料を徴収するなど、国民の期待に応える規制が策定されている。

広報協議会

次の日程で開催しました。会議の様子はユーチューブでご覧いただけます。

▼5月22日(火)
 ▼6月21日(木)
 ▼7月20日(金)

賛成討論 (要旨)

宮下 誠(公明党)

公明党は世界最高水準にふさわしい法案内容にすべく、議論をリードしてきた。IR施設建設を全国で3か所までに限定、入場回数制限については7日間で3回、28日間で10回という世界に類のない制限を設けたほか、一人当たり1回6千円の入場料を徴収するなど、国民の期待に応える規制が策定されている。

反対討論 (要旨)

宮下 誠(公明党)

公明党は世界最高水準にふさわしい法案内容にすべく、議論をリードしてきた。IR施設建設を全国で3か所までに限定、入場回数制限については7日間で3回、28日間で10回という世界に類のない制限を設けたほか、一人当たり1回6千円の入場料を徴収するなど、国民の期待に応える規制が策定されている。

反対討論 (要旨)

宮下 誠(公明党)

公明党は世界最高水準にふさわしい法案内容にすべく、議論をリードしてきた。IR施設建設を全国で3か所までに限定、入場回数制限については7日間で3回、28日間で10回という世界に類のない制限を設けたほか、一人当たり1回6千円の入場料を徴収するなど、国民の期待に応える規制が策定されている。